

令和8年度 常葉大学教職大学院 第1回連携協力協議会

◆ 日 時 令和8年4月27日（月）13：30～16：30

◆ 場 所 常葉大学静岡草薙キャンパス A棟2階A210教室 他

次 第

進行（望月）

1 【全体会】 13：30～14：00 A210教室

- （1）研究科長挨拶 平井 貴美代 研究科長
- （2）連携協力協議会委員委嘱
- （3）専任教員自己紹介
- （4）アクションリサーチ（AR）について （AR担当：望月）

— 休憩及び講演会準備 —（14：00～14：10）

2 【講演会】 14：10～15：40 A210教室

- ・演題 「静岡県の教育の今後について」
- ・講師 静岡県教育委員会 教育長 前澤 綾子 氏

— 休憩及び移動 —（15：40～15：50）

3 【グループ別協議】 15：50～16：30

- ・行政、協力施設 <第1会議室>
- ・ARIの連携協力校 <第3会議室>
- ・ARI・IIIの連携協力校 <第4会議室>
- ・現職教員原籍校 <A210教室>
- ・外国人児童教育観察実習校 <A413教室>

— 閉会（グループごと） —（16：30）

【グループ別協議内容】

委員から出された意見（抜粋）	大学院側の回答
特別な支援を要する児童・生徒への対応等に関する知見を、養成段階でもっと身に付けさせたい。	教職大学院のカリキュラムにも配置しているが、共生教育の視点も含めてさらに充実を図っていききたい。
研修で生徒指導や授業づくり等に関して改めて指導するのではなく、大学のカリキュラムとの連動を図り、教員の指導力を向上させたい。	養成・採用・研修の一体化に向け、さらに大学のカリキュラムを見える化し、連携を図る方策を検討していききたい。
院生の研究成果をもっと現場で共有できるようにしたい	情報提供、情報共有、情報の発信の仕方を工夫していききたい。
教職大学院がなくなることが不安。教育学部での教員養成をさらに強化していただきたい。	期待に応えられるように努力していく。
学部卒院生１年のボランティアは、実習開始前から行われるのか？また、その際には学生から連絡があるのか？	実習前から行われることが多い。ボランティアをするにあたっては、学生から連絡があるかもしれないが、ボランティアのお願いの際は、担当教員と学生が共に学校に伺い、そこで説明させていただきたい。
院生は学年部や学級につくのか？それとも、どこにも所属しないで、院生の課題に合ったクラス等（複数の学年にわたるなど）に入って実施するのか。	通常は学年や学級について、副担任としての位置付けで受け入れていただいている。
守秘義務についての院生の意識はどのくらいあるのか。	意識はある。事前指導の際にも指導をするし、連携協力校に事前訪問した際にも校長先生からお話をいただくことが多い。
学部生の実習のようにプログラムをつくる必要があるのか。	そのような必要はないが、実施要項に示されている内容を参考に考えていただきたい。授業のどの部分を担当するかなどについては、配当学級の担任、校長等との相談になる。
授業の持ち時数等の制約はあるか？	院として特に定めてはいない。本人とよく相談して計画していただきたい。

現職教員は、月曜日に学校に来るとのことだが、本校で水曜日に行っている校内研修に参加してもらうことは可能か？	水曜日は大学のゼミの日になっているが、担当教員に話を通せば、柔軟な対応ができると思う。
--	--